

## 令和元年度第5回川口市廃棄物対策審議会議事録

令和元年度第5回川口市廃棄物対策審議会	
1 開 会	
2 挨拶	
部長挨拶	
議事録署名人選任 吉田奈緒美委員が指名される。	
議題（1）第7次川口市一般廃棄物処理基本計画（案）のパブリックコメント意見募集結果について	
事務局から、資料に基づき説明。	
委員一同	意見なし。
議題（2）川口市一般廃棄物処理基本計画の改定について	
事務局	<p>前回の審議会において、各委員からの意見を反映した部分も含め、修正した部分について、説明する。資料2の36ページの（3）焼却ごみ対象ごみの単位体積重量と低位発熱量について、戸塚環境センターと朝日環境センターの2施設の平均値をグラフ化していたが、内容を精査し、2施設それぞれの推移を表記した。38ページの市民アンケート調査の間3（2）お住いの地区のごみステーションで問題となっていることの棒グラフ右側に問題となっていることを選択と表記した。また、39ページの事業者アンケート問4の実施しているごみ減量・資源化の取り組みについて、同様に棒グラフ右側に取り組みをしていることを選択と表記した。40ページ7の食品ロス実態調査の概要の（2）調査結果の中に、図表2-24の川口市と全国平均の食品ロス量を表記した。55ページの12他市との比較について、全体の文章との整合性を図るため、単位表記を変更した。人口一人一日あたりごみ排出量では、これまでkg/人・日であったが、g/人・日とした。廃棄物からの資源回収率はパーセント表記、廃棄物のうち最終処分される割合もパーセント表記に変更した。56ページの図表2-43においても55ページと同様に単位表記を変更した。84ページの食品ロスの削減の（3）プロジェクトを推進することで達成できるSDGsの目標として、関連するSDGsの目標やターゲットの詳細</p>

	を表記した。また、87ページのプラスチックごみの削減の(3)プロジェクトを推進することで達成できるSDGsの目標にも84ページと同様に関連するSDGsの目標やターゲットの詳細を表記した。修正についての説明は以上であるが、表紙のデザインや文言の整理が必要となった場合には、会長と整理・調整を行い、市長へ答申を行いたいと考えている。
議長	ただいまの説明について、意見はあるか。
委員	SDGsを市民がどの程度理解しているのか分からないので、分かりやすく理解してもらえよう、大まかに1から6は人間生活に必要な基本的な事柄、7から12は経済活動や社会の在り方に関すること、13から15は環境に関することを扱っているといったような形で注釈等を入れてもらえたらと考える。
事務局	SDGsについては環境基本計画に別途記載があり、ごみの分野については本計画で記載している。
委員	SDGsについて計画に記載するうえで、特に市民に関係する生活の中で大変重要なところについて、皆が理解し、具体的にどのような形で積極的に行動できるのかを理解できるようにしてもらいたい。
事務局	関連するところについては、84ページに1、2、5、8、10、12、17と記載しており、87ページにも該当項目を記載している。達成する内容やターゲットも記載している。
議長	他に意見等はないか。
委員一同	なし。
議長	表紙のデザインや文言の整理等が必要となった場合には、私と事務局とで調整させていただいてよろしいか。
委員一同	異議なし。
<b>議題(3) 報告事項 川口市戸塚環境センター施設整備基本設計の策定について</b>	
事務局から、資料に基づき説明。	
委員	整備運営計画のDBM+O方式について中身を詳しく説明してもらいたい。
事務局	DBM+O方式については、設計、施工、メンテナンスを一括発注し、運転は直営又は委託をする方式となる。これまでの方式では、設計、施工を一括発注し、メンテナンスおよび運転を直営または委託と

	<p>していたが、メンテナンスまでを一体で行うことによって、事業費の平準化を図るものである。すべてを委託せず、職員を残すことにより、受付時の適切な持ち込み対応が可能となり、また、主任技術者を職員が担うことで、市が直接的に運営管理を行うため、戸塚環境センター連絡協議会や周辺住民等の問い合わせに適切に対応できるものと考えている。</p>
委員	<p>委託するところと直営の職員を配置するところと混在させる形になるのか。</p>
事務局	<p>現状の粗大ごみ施設については、直営の職員で対応しており、引き続き直営としている。経験豊富な職員が対応することで、他の自治体よりも少人数で対応できている。</p>
委員	<p>当然長くやっていたら慣れているが、人件費を考えると、職員より委託の方が削減できるため、委託先の方に長くやってもらえればベテランになるので、議会等でも指摘しているが、運転業務や現場の職員は少しずつ減らしていくべきであると考えているがどうか。</p>
事務局	<p>運営については、スタートの段階では現在の考えで進め、順次状況を見ながらご指摘の考え方も検討していきたい。</p>
委員	<p>よく検討して進めてもらいたい。</p>
事務局	<p>減員された場合の対応を踏まえ、検討していきたい。</p>
委員	<p>市民の方にも決まったことを伝えるのではなく、経緯についてPRESS530等を利用したりしながら伝えてほしい。また、完成した後のトラブルは起こりがちであるため、メンテナンスをし易い施設にしてもらえたらと考える。</p>
事務局	<p>広報については、基本設計を本編と概要についてホームページに掲載するなど、積極的に行っていきたい。施設の実施設計については、事業者選定後、受託者が行う。実施設計の内容を精査し、メンテナンスのし易い施設を建設してまいりたいと考えている。</p>
委員	<p>戸塚環境センターには月1回、事業系のごみを搬入しているが、一番気になるのは、普段利用している者が施設の建設が完了までの間はごみの搬入ができるのか。</p>
事務局	<p>今回建設を行う場所は現在停止をしている東棟を建て替えるもの。引き続き西棟でごみを受け入れながら建設を行うため、受付は可能である。</p>

委員	年末に自己搬入するための車の列が例年できていると思うが、建設中も受け入れは可能なのか。
事務局	半分のエリアが工事範囲となるが、年末年始の期間中は工事を行わないため、工事車両のスペース等も活用しながら受け入れを行うことを予定している。
委員	例年道路にも列ができているが、その程度の混雑は予想されるのか。
事務局	現状においても敷地外まで並んでいる事例があるため、同じ台数の搬入車両が来れば、敷地外まで並ぶことも予想される。
委員	今回の計画では、自己搬入利用者の車両の滞留スペースは現状と比べて増えるのか。
事務局	新たな施設では導線を変更し、台貫を施設の奥に配置し、入り口からの距離をとり、滞留スペースを増やした。
委員	地震の備えの観点から、施設内のコンポーネントの固定についての計画を確認したい。また、浸水の備えの観点から雨水貯留槽を設ける計画だが、台風19号では地上にある台貫所の計量コンピュータや大きな装置の配電等が浸水してしまった例もあるため、機器の配置がどの程度の高さになるのか。
事務局	コンポーネントの固定について、基本設計では具体的な表記はしていない。発注に際しては、わかるように明記したいと考えている。 また、戸塚環境センターの東側には綾瀬川が流れており、ハザードマップでは約2mの浸水エリアとなっている。敷地の一部はグラウンドレベルよりも高く造成されているが、施設が浸水する可能性はある。そのため、主要な設備については、2階に配置するように計画している。
委員	主要な設備とは具体的に何か。
事務局	電気室、中央操作室、非常用発電機、蒸気タービン発電機等は浸水深より高い位置に計画をしている。ごみピットについても浸水することのないよう計画をしている。
委員	台貫本体の高さはどうか。
事務局	台貫のサーバーは高い位置に計画をしている。台貫が万一浸水した場合には、受付業務は行えない。入力済のデータはサーバーで保持しているため、復旧後に対応したいと考えている。

議題（４）その他	
事務局から、今後のスケジュールについて説明。	
委員	<p>2月3日に埼玉県環境国際センターの公演があり、可燃ごみの実態調査で埼玉県が2つの市で調査し、それぞれ家庭ごみの排出が681g／人・日、516g／人・日で、興味を持ったのは食品ロスの実態調査も行い、4％から7％とのこと。川口市でも調査を行っているので、意見交換や情報交換をすれば参考になるのではと思う。</p> <p>また、2月9日にNHKで宮城県の災害ごみを取り上げていた。NHKアーカイブでも見られるようなので参考にしてもらえたらと考える。</p>
事務局	<p>貴重な意見として、今後の参考にさせてもらい、よりよい環境施策に生かしていきたい。</p>
議長	<p>みなさまから貴重な意見を賜りましてありがとうございました。それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。以上をもちまして令和元年度第5回川口市廃棄物対策審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>
閉会 (14:55)	